

平成29年度 地歴科

教科	地歴	科目	日本史A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校 日本史A 人・くらし・未来 (第一学習社)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

我が国の近現代史を中心とする歴史展開を正しく理解させるため、ノートのとめ方を指導して講義内容の定着をはかる。また、個々の歴史事象に対する興味・関心を高め、考察力・思考力を養うため、歴史事象についての意見交換を活発化させ、歴史を身近なものとして捉えられるよう指導する。また諸資料を多用して、資料に対する公正な判断力を育てる。

2 学習の到達目標

我が国の歴史展開を、世界史的視野に立って現在の国際環境とも関連づけながら総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色について認識を深めさせることによって歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養うとともに、未来に向けて国際平和に貢献することのできる力を育てる。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用 of 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	明治維新に至るまでの日本歴史の流れを把握し、日本固有の文化伝統を理解した上で、国際的視野に立って、我が国の近現代史に対する関心を高め、意欲的に追求する。	我が国の近現代史の展開のなかから課題を見つけ、我が国の文化・伝統・生活を踏まえて、世界的、国際的視野に立って多面的・多角的に考察し、問題点を公正に判断する。	我が国の文化・伝統を理解し、近現代の国際社会における我が国の歴史を正しく判断するため、文献史料・図版・写真資料・映像など諸資料のなかから正確・公正な情報を得る。	近現代史を中心とする我が国の歴史的展開及び我が国の生活・文化・伝統に関する正確かつ公正な事実、事項について理解した上で、それに関する基本的な知識をマスターする。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 講義への集中力、課題への対応力の観察 発問評価 ノートの点検 	<ul style="list-style-type: none"> プリント課題等の点検 ノート整理の点検 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚資料に関する意見交換の観察 史料講読・読解の観察、評価 	<ul style="list-style-type: none"> プリント課題等の点検 知識確認小テスト 定期考査
定期考査の結果を中心にしながら、受講姿勢の観察やプリント課題など普段の取り組みの姿勢に対する評価を大きく加味する。意見交換やノートのとめ方を重視して考査点数に現れにくい思考力・理解力・判断力を公正に評価する。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	おもな評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	と 歴 史	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代史の前提となる前近代史を振り返る ・我が国の生活・文化・伝統の根源を追究する ・身近な日常の話題の中から日本の文化・伝統に関するものを発見しその背景を探る 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a: 日本文化・伝統に関する理解を深める手がかりを模索している。 b: 日常の中の日本の歴史・文化的伝統について考えようとしている。 c: 前近代史についてその流れを把握している。 d. 前近代史に関する基礎的知識をマスターしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・史料読解観察、評価 ・プリント課題評価 ・発問評価 ・集中力観察 ・定期考査
	国 際 関 係 の 推 移	<ul style="list-style-type: none"> ・近代への始動 幕末の政治混乱と諸藩の改革の動きから日本の近代化を展望する。 ・明治維新 開国に至る経緯と幕府の対応、討幕派の動きをたどる。 ・近代国家の形成 明治政府による近代化の過程と議会政治の成立の過程を理解する。 ・国際関係の推移と近代産業の発展 明治初期の外交とその後国際関係の模様と、経済の近代化を把握する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a. 江戸時代の対外関係の実態や、幕府、諸藩における欧米文化の影響について関心を高めている。 b. 開国後の混乱状況から討幕に至る経過をたどりながら、その歴史的必然性について考察し、維新後の新たな国際関係をよく展望している。 c. 文献史料や写真資料の内容を分析し、よく読み解いている。 d. 開国から明治新政府成立に至る流れを理解し、維新後の新たな国際関係のなかでの日本近代化の過程に関する基礎的知識をマスターしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問評価 ・史料読解観察、評価 ・ノートまとめ点検 ・プリント課題評価 ・定期考査 ・視覚資料意見交換観察 ・ノートまとめ点検 ・定期考査
2 学期	国 際 情 勢	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と日本 第一次世界大戦勃発の経緯、日本参戦の背景について学習する。また、第一次世界大戦が国際社会に与えた影響や、日本に及ぼした主として経済面の影響を理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> a 先進国の一角を占めるに至った日本の国際社会での動きに関心を持っている。 b. 欧州の大戦と東アジアの関係の中で、日本の方向性について考察している。 c. 史料講読に熟練し、解説を加え要点をまとめる能力が高い。 d. 第一次大戦から戦後に至る過程に関する知識をマスターしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問評価 ・ノート点検 ・プリント課題評価 ・史料読解観察、評価 ・知識確認小テスト ・定期考査

2 学 期	国 際 情 勢	第 2 章 両 大 戦 を め ぐ る	・第二次世界大戦と日本 第一次世界大戦後の国 際状況を踏まえ、日本 の経済的危機、軍部の 台頭による政治状況の 変化、世界各国との外 交関係の推移について 学習し、太平洋戦争に 至る過程を理解する。 また、太平洋戦争が、 日本をはじめとしてア ジア各国の国民生活に どのような影響を与え たのかを考察する。	○	○	○	○	a. パールハーバーや原爆投下 を始めとする太平洋戦争の 様相と国民生活への影響に 高い関心を持っている。 b. 第一次世界大戦後の資本主 義諸国の経済危機が、国際 関係に及ぼした影響につ いてよく考察している。 c. 日中戦争から太平洋戦争に 至る過程を整理し、年表に まとめることができる。 d. 日中戦争、太平洋戦争か ら戦後に至る過程につ いての知識をマスターしている。	・発問評価 ・ノート点検 ・史料読解観 察、評価 ・プリント課 題評価 ・知識確認小 テスト ・定期考査
	日 本 と 世 界	第 3 章 現 代 の	・日本の再出発 第二次世界大戦後の対 日占領政策とその後の 日本の政治に与えた影 響、日本の経済復興の 経緯について学習す る。	○	○	○	○	a. 占領政策と戦後の国民生活 に高い関心を持っている。 b. 占領政策の転換の背景につ いてよく考察している。 c. 写真資料の示す歴史状況を よく読み解いている。 d. 戦後日本の荒廃から復興 に至る過程に関する知識を よくマスターしている。	・発問評価 ・ノート点検 ・史料読解観 察、評価 ・プリント課 題評価 ・知識確認小 テスト ・定期考査
第 3 学 期	世 界	第 3 章 現 代 の 日 本 と	・独立後の政治と経済の 発展 主権回復後の日本の国 内政治と外交関係を踏 まえ、高度経済成長や 冷戦構造とその崩壊に ついて学習する。 ・現代の日本と世界 めまぐるしく変転する 経済状況や国際情勢が 日本の国民生活に与え た影響を追究する。	○	○	○	○	a. 現代の国際社会を読み解く 鍵について関心が高い。 b. 日本の近現代史が現在の日 本のあり方とどのように繋 がるか、よく考察している。 c. 戦中、戦後の映像資料から 時代を見通す力がある。 d. 日本の国際社会復帰、高度 経済成長から、経済が低迷 し、新しい国際秩序を模索 する現代に至る過程に関 する知識をマスターしている。	・発問評価 ・ノート点検 ・史料読解観 察、評価 ・プリント課 題評価 ・知識確認小 テスト ・定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。